

本堂および客殿が木造建築のお寺様へのご提案

長年にわたって本堂、客殿の木部および壁が風雨にさらされ、外部に汚れが目立つようになってきた木部、特に浜縁等の洗浄・シミ抜きを、雨水をはじく撥水材を塗布（写真右）することによって、本堂、客殿の耐久性が増し、今後の維持管理が容易になります。



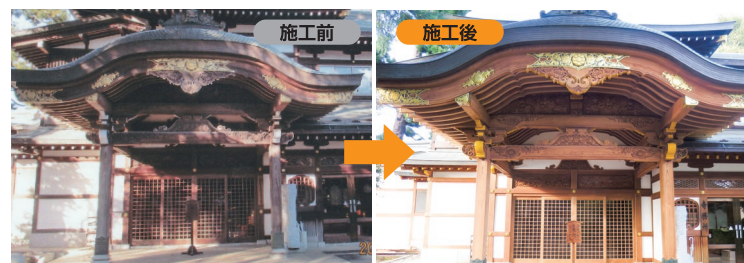
経年劣化した木材

シミ抜き後撥水材を塗布

I 本堂が間口7間奥行6.5間位の作業内容の工程（約1～2ヵ月）

- ① 仮設外部足場接地
- ② 軒天井、桁、壁、建具、浜縁、高欄等を温水で高圧洗浄。
- ③ 洗浄後、染み抜きおよび美装工事（染み抜き等によって木の材質を痛めることは有りません）。なお、浜縁、床板は損傷がひどい部分は取替が必要になることもあります。
- ④ 木部をよく乾燥させてから撥水成分の入ったノンロットを塗布する。撥水材によって木部に雨風が吹き付けても水分を弾いて乾燥しても汚れが付きにくくなります。特に浜縁板には有効です。
- ⑤ 漆喰壁等はカチオン系塗装をして壁面を強化、水分を弾きます。タル木、斗組、木鼻等の木口塗。
- ⑥ 高欄の擬宝珠、唄等の金具塗装、その他六葉。破風板等の鍔金具は金箔、ウルシ塗で修復。
- ⑦ 基壇の御影石は洗浄。染み抜き後撥水材で保護。
- ⑧ 彫刻等に彩色がされている場合はご相談のうえ施工。
- ⑨ 足場解体完了。

※ご希望があれば屋根瓦についても調査いたします。（調査は無料です）



本堂が鉄筋コンクリート造のお寺様へのご提案

昭和30年～40年代に建築された本堂外部のスチールサッシ。開閉が重たいサッシをアルミサッシに取り換えてみませんか？

開閉がスムーズに動きます。また、本堂の軸部、壁等のひび割れ、浮き等を直して、全面塗装によって外観が創建当時の美しさに蘇ります。

I サッシ取替の作業工程（約1～2ヵ月）

- ① 現状のサッシ取付状況の実測の上、図面作成
- ② 工場でアルミサッシの外枠および建具を製作
- ③ 取替する箇所の建具のみを撤去。その後外枠を既存の枠の上にカバー工法で取付する（敷居部については撤去取替も可）枠が完了後建具を納めます。
- ④ 枠周りをシーリングをして完了です。旧の作業で2か所位です。内部の設置備品の移動等は動かさなくても大丈夫です。サッシが高所の場合は仮設足場設置が必要になります。



II 本堂外部の塗装作業工程（約1～2ヵ月）

- ① 仮設足場の設置
- ② 現状のモルタル壁と躯体とのひび割れ、すき間の有無確認。
補強溶剤を注入して、モルタル壁の浮上りを固定する。
- ③ 外部の軒裏、桁、柱壁、浜縁等の高圧洗浄をおこなう
- ④ 洗浄後、乾燥を確認の上、下地調整溶剤のシーラー塗で下地を調整する。
- ⑤ 外部周りの柱、梁、軒天、タル木、壁等の仕上の色を打合せの上、シリコン系塗装で仕上げる（2回塗）
- ⑥ 鍔金具等は、金箔、ウルシ塗で修復後取付。
その他の金物等は塗装で修復（高欄金物、風鐸等）
- ⑦ 向拝等の御影石は染み抜き洗浄後撥水剤を塗布、汚れ防止となります。



III 屋根瓦および銅板葺について

足場のある内に現状調査の上、部分補修または全面葺替かは相談の上、決定。足場解体をもって工事完了となります。

協力企業：昭和フロント株式会社

株式会社 池田社寺建築設計事務所

本社
〒350-0228 埼玉県坂戸市元町8丁目1番 エコヴィレッジ 405号
TEL/FAX 049-270-0019 携帯電話 080-7932-0019 (池田)
Email info@ikeda-shaji.co.jp

大阪支社
〒594-0031 大阪府和泉市伏屋町2丁目9番20号
携帯電話 090-9619-5769 (藤井)
Email ikedasyaji.osaka@gmail.com

www.ikeda-shaji.co.jp

